

各 位

会 社 名 株式会社エスピーエス
代表者名 代表取締役 鎌田 正彦
(コード番号 : 2384 ジャスダック)
(URL <http://www.sbs-group.co.jp/>)
問合わせ先 取締役管理本部長 入山 賢一
Tel : 03-5655-6110

会 社 名 ティーエルロジコム株式会社
代表者名 代表取締役会長 高橋 正守
(コード番号 : 9079 東証第二部)
(URL <http://www.tl-logicom.co.jp/>)
問合わせ先 常務取締役 原田 道夫
Tel : 03-5762-2211

簡易株式交換によるティーエルロジコム株式会社の完全子会社化に関するお知らせ

株式会社エスピーエス(以下「エスピーエス」という)ならびにティーエルロジコム株式会社(以下「ティーエルロジコム」という)は、両社それぞれ平成 18 年 2 月 20 日開催の取締役会決議を経て、エスピーエスがティーエルロジコムを株式交換により完全子会社化することに合意し、株式交換契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 株式交換によるティーエルロジコムの完全子会社化の目的

エスピーエスは、既に公開買付により、ティーエルロジコムの発行済株式の 94.08%を平成 17 年 6 月 21 日付で取得しており、その後ティーエルロジコムは、エスピーエスグループ(「以下 SBS グループ」という)が展開する物流事業の中核企業の一角として、グループシナジーの最大化に向け、エスピーエスとともにグループの競争力向上に邁進してまいりました。

SBS グループは、グループシナジーの更なる追求の一環として、主要な子会社各社の本社機能集約化による経営のスピードアップ、事業環境の変化や顧客ニーズの多様化にスピーディーに対応する為、グループ会社各社の連携強化や組織体制の改革などに既に着手しております。また今後顧客企業の物流業務を包括受託し、ニーズに応えていく為、効率的且つ高品質な 3PL サービスの提供・展開に注力し、取り組んでいく方針であります。

取り巻く事業環境が厳しさを増すなか、グループ一体となった事業戦略推進およびシナジー最大

化による収益力向上は不可欠であり、両社にての協議の上、グループとしての3PLサービスの品質向上及び事業の成長推進に向け、ティーエルロジコムの完全子会社化による経営の効率化が望ましいとの判断にいたりました。

2. 株式交換条件・要旨等

(1) 株式交換の日程

株式交換契約書承認取締役会	平成 18 年 2 月 20 日
株式交換契約書の締結	平成 18 年 2 月 20 日
株式交換契約書承認株主総会	平成 18 年 3 月 28 日 (ティーエルロジコム定時株主総会)
ティーエルロジコム株券提出期間開始日	平成 18 年 4 月 28 日
ティーエルロジコム上場廃止日	平成 18 年 4 月 29 日(予定)
ティーエルロジコム株券提出期間満了日	平成 18 年 5 月 30 日
株式交換期日	平成 18 年 5 月 31 日(予定)

1. 商法第 358 条の規程による簡易株式交換となりますので、エスピーエスにおいては、株主総会における承認決議は予定しておりません。
2. 本件株式交換によりティーエルロジコムの完全親会社となるエスピーエスは、株式会社東京証券取引所への新規上場申請を行うことを予定していないため、ティーエルロジコム株式は、株式会社東京証券取引所の株券上場廃止基準に基づき、株主総会における株式交換契約書の承認決議をもって上場廃止が決定され、1 ヶ月間の整理ポスト割当を経て上場廃止となる見込みです。

(2) 株式交換比率

	エスピーエス (完全親会社)	ティーエルロジコム (完全子会社)
株式交換比率	1	0.00116

(注) 1. 株式の割当比率

ティーエルロジコムの普通株式 1 株に対して、エスピーエスの普通株式 0.00116 株を割当交付いたします。なお、エスピーエスが既に保有しているティーエルロジコムの株式 26,557,923 株（発行済株式総数の 94.58%）については割当交付を行いません。

2. 株式交換比率の算定根拠

エスピーエスおよびティーエルロジコムは、第三者機関である中野公認会計士事務所に、株式交換比率案の算定を依頼し、その算定結果を参考として当事会社間において協議した結果、上記のとおり合意いたしました。

3. 第三者機関による算定結果、算定方法および算定根拠

中野公認会計士事務所は、市場株価法、時価純資産法、および収益還元法を総合的に

勘案して、両社の推定株主資本価値を算定したうえで、株式交換比率を算定いたしました。

4. 株式交換により発行するエスピーエスの新株式数

普通株式 1,763 株

(3) 株式交換交付金

株式交換交付金の支払いはありません。

(4) 配当起算日

株式交換に際して発行するエスピーエスの新株式に関わる利益配当金の計算は、平成 18 年 1 月 1 日を起算日とします。

3. 株式交換の当事会社の概要

(平成 17 年 12 月 31 日現在)

(1) 商号	エスピーエス (完全親会社)	ティーエルロジコム (完全子会社)
(2) 主たる事業内容	グループ経営管理業務 子会社の管理業務受託	運送事業 不動産賃貸管理業
(3) 設立年月日	昭和 62 年 12 月 16 日	昭和 15 年 2 月 5 日
(4) 本店所在地	東京都墨田区堤通一丁目 19 番 9 号	東京都品川区南大井一丁目 13 番 5 号
(5) 代表者	代表取締役 鎌田正彦	代表取締役会長 高橋 正守 代表取締役社長 鎌田 正彦
(6) 資本金	3,833 百万円 (平成 17 年 9 月 30 日現在)	2,846 百万円
(7) 発行済株式総数	128,921 株	28,078,000 株
(8) 株主資本	8,281 百万円 (平成 17 年 9 月 30 日現在)	21,244 百万円
(9) 総資産	14,127 百万円 (平成 17 年 9 月 30 日現在)	32,988 百万円
(10) 決算期	12 月	12 月
(11) 従業員数	35 名	1,491 名
(12) 主要取引先	子会社	(株)東急ストア、 (株)K C ロジスティクス (株)アイシーカーゴ 伊藤忠食品(株) (株)伊勢丹ビジネスサポート
(13) 大株主および持株比率 (平成 17 年 12 月 31 日現在)	鎌田 正彦 49.74% 大内 純一 3.56% ドイチェバンク AG ロンドン PB ファームアカウント 2.79% エスピーエス従業員持株会 2.41%	(株)エスピーエス 94.58% 阿由葉 吉之輔 1.15% (株)講談社 1.04%
(14) 主要取引銀行	(株)三菱東京 UFJ 銀行 (株)りそな銀行 農林中央金庫 (株)三井住友銀行	(株)三菱東京 UFJ 銀行 (株)みずほコーポレート銀行 中央三井信託銀行(株) 商工組合中央金庫

(15)当事会社の関係	資本関係	(株)エスピーエスがティーエルロジコム(株)の発行済株式総数の94.58%を所有しております。
	人的関係	取締役社長鎌田正彦、取締役入山賢一は、(株)エスピーエスの代表取締役、取締役をそれぞれ兼務しております
	取引関係	特にありません。

(16) 最近3決算期間の業績

(単位：百万円)

決算期	エスピーエス(単体) (完全親会社)			ティーエルロジコム(単体) (完全子会社)		
	平成14年 12月期	平成15年 12月期	平成16年 12月期	平成16年 3月期	平成17年 3月期	平成17年 12月期
売上高	10,526	10,478	6,668	26,605	30,777	24,025
営業利益	39	97	163	660	1,141	1,125
経常利益	10	166	243	751	1,133	1,124
当期純利益	16	138	225	763	994	610
1株当たり当期純利益(円)	1,514.74	8,689.68	1,920.46	26.36	34.83	21.52
1株当たり年間配当金(円)	-	2,000	500	10	10	7.5
1株当たり株主資本(円)	45,548.66	58,731.78	65,190.64	711.83	722.60	760.60

- (注)
- ・エスピーエスは、平成16年4月20日付で1：2の株式分割を、平成16年8月20日付で1：3の株式分割を行っております。
 - ・エスピーエスは、平成16年7月1日付で事業部門を分離し、純粹持株会社へ移行しております。
 - ・ティーエルロジコムの平成17年12月期業績については、決算期変更に伴い平成17年4月1日から平成17年12月31日までの9カ月決算となっております。

4. 株式交換後の状況

(1) 商号、本店所在地、事業内容、代表者

平成18年4月17日付(予定)にて、グループ全体の本社機能の移転・集約化に伴い、エスピーエスならびにティーエルロジコムは、下記住所に本店所在地を変更いたします。

新本店所在地： 東京都墨田区太平四丁目1番3号 オリナスタワー

また、同4月17日付(予定)にて、エスピーエスは、上記の移転を機に、子会社および関係会社を統括する持株会社としての位置付けを明確にするため、平成18年3月30日開催予定の定時株主総会における「定款一部変更の件」の承認決議を経て、下記の商号に変更いたします。

新商号： SBSホールディングス株式会社(英文名 SBS Holdings, Inc.)

なお、事業内容および代表者については、当事会社2社それぞれ「3. 株式交換の当事会社の概要」に記載の内容から変更ありません。

(2) 資本金

本株式交換により エスピーエスの資本金は増加いたしません。

(3) 今後の業績に与える影響

エスピーエスは、既にティーエルロジコム株式総数の 94.58%を保有しており、平成 17 年 6 月よりエスピーエスの連結対象子会社として連結業績に反映しております。

また、本株式交換による連結業績への影響については軽微なものとは思われますが、今後は、エスピーエスおよびティーエルロジコムにおける業務の一層の効率化とグループ力の結集により業績への寄与を図ってまいります。

以 上